

# 『モレシール&ねんど』取扱説明書

工業・産業・一般分野を問わず機械・機器に油が使われていますが、老朽化にともない漏油の発生リスクは高まります。

また、発生要因は金属の減肉厚・ピンホール、パッキン劣化等多岐にわたり、発生個所は機械・機器のフラット面、凹凸面、パッキン部、ボルト部、溶接箇所等のあらゆる箇所で発生します。

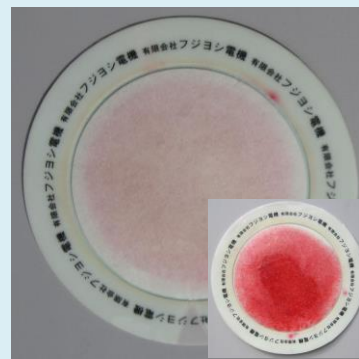
そこで、本製品はそういった**漏油の疑いのある箇所**に**使用**することで、**いち早い漏油の見える化と一定の封じ込め効果注1**を**可能**とすることを目的に開発したもので、用意したタイプ別にその特徴に応じた使用方法を記載しましたのでご活用ください。

注1：一定の封じ込め効果とは恒久的なものではなく、著しい漏油にも対応するものではありません。

## 《シール（パッチ）タイプ》

(こんな特徴を持っています)

- ・変色布が大きい**ため広範囲**の漏油を検知
- ・**屋外**使用可
- ・シールの**密着力が高く**封じ込め効果大  
(こんな場所に使ってください)
- ・表面に**凹凸の無い平面**又は緩い曲面



※油付着画像

1頁 使用方法①：通常の使い方

2頁 使用方法②：吸着力アップの使い方

8頁 使用例：《シール（パッチ）タイプ》編

垂直平面ピンホールへの使用例

配管ピンホールへの使用例

## 《ねんど（シリコン）タイプ》

(こんな特徴を持っています)

- ・貼り付け面の**形状を選ばず**に貼り付けが可能
- ・**屋外**使用可
- ・適度な**密着力**で封じ込め効果も有
- ・耐久力のハードと扱いが容易なソフトタイプの**2種類**を用意  
(こんな場所に使ってください)
- ・基本密着性を確保できれば**どんな場所にも貼り付け可能**

※凹凸面 パッキン部 ボルト部 溶接箇所 etc

3頁 使用方法③：軽い凹凸のある箇所への使い方

4頁 使用方法④：複雑な形状への使い方

5頁 使用方法⑤：簡易な使い方

6頁 使用方法⑥：吸着力アップの使い方(1)

7頁 使用方法⑥：吸着力アップの使い方(2)

8頁 使用例：《ねんど（シリコン）タイプ》編



凹箇所への使用例

パッキン部への使用例

漏油修理箇所への使用例

ボルト部への使用例

## 使用方法①：通常の使い方

### 《シール（パッチ）タイプ》

手順1：貼り付け面の汚れ・油分を脱脂洗浄剤（アセトン）でよく拭き取る。



手順2：シールを指等が接着部分に触れないよう注意して台紙から剥がす。



※指等に接着部に付着した状態で変色布に触れると接着剤の油分で変色する場合があります。

手順3：漏油の疑いがある箇所が変色布にしっかり当たるよう、位置を確認しながら全体を押さえつけるように貼り付ける。



※吸着力をアップさせる場合は手順3の前に2頁の「吸着カアップの使い方」を行ってください。

手順4：シールの外周で接着面で浮きが無いかを確認する。



👍 いいね！

万一手順4で接着面の浮きがあった場合は、浮いた部分の外周1cm程度をねんど（シリコン）で覆うようにカバーする。



《シール（パッチ）タイプ》

手順1：吸着用布（丸形）のラミネート面（艶がある面）にスティックのりを数箇所に点付けて薄く塗布する。



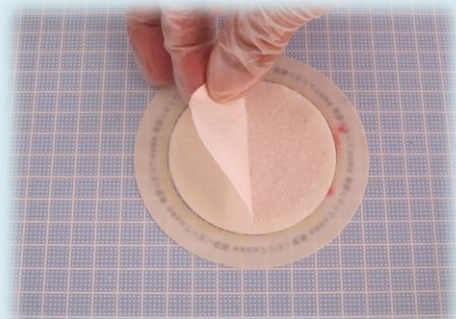
※スティックのりを全体に塗ると吸着用布に開けた油の貫通 穴が詰まってしまいます。

※最終的にはシールで押さえつけるので数箇所に点付けて 軽く貼り付く程度でOK。

手順2：吸着用布の、のり塗布面をシールの変色布に重ね



手順3：さらに吸着力をアップする場合は手順2で貼り付けた吸着用布対して、手順1～2の要領で新たな吸着用布を軽く貼り付けて重ねる。



※吸着用布は1～2枚程度までの使用を推奨。

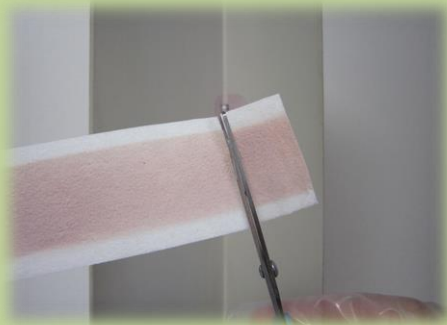
以降は使用方法①の手順3～と同等の手順に従ってください。

《ねんど（シリコン）タイプ》

手順1：貼り付け面の汚れ・油分を脱脂洗浄剤（アセトン）でよく拭き取る。



手順2：漏油を検知したい箇所の大きさに合わせて、実際にあてがって確認しながら、変色布をハサミ又はカッターで切り抜く。



手順3：切り抜いた変色布の外周より1 cm以上大きくなるようねんどを成形棒等で厚さ2～3 mm程度の平らな板状に加工する。



※このときねんどに手の油分があまり付着しないよう注意

手順4：板状のねんどの中心に、変色布のラミネート側（艶がある面）をねんど側に向けて貼り付ける。



※吸着力をアップさせる場合は手順4の後に6頁の「吸着力アップの使い方(1)」を行ってください。

手順5：漏油の疑いがある箇所に、板状のねんどに貼り付けた変色布がしっかり当たるように位置を確認しながら軽く貼り付ける（仮止め）。



手順6：板状のねんどの厚みを薄くしていくイメージで全体を押し付けて延ばすようにしっかり貼り付けていく。



手順7：ねんどの外周の接着面に浮きが無いよう丁寧に指で押し付ける。



いいね！

ねんどが不足した場合は適度な大きさのねんどを付けたして確実に密封する。



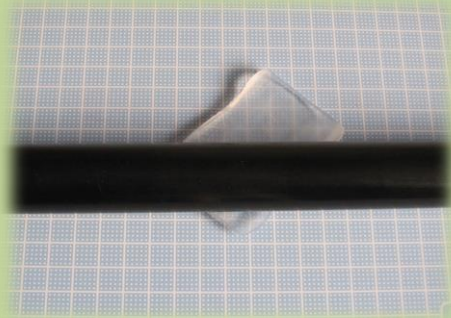
## 使用方法④：複雑な形状への使い方

### 《ねんど（シリコン）タイプ》

手順1：貼り付け面の汚れ・油分を脱脂洗浄剤（アセトン）でよく拭き取ってください。



手順3：切り抜いた変色布を覆い、複雑な形状物の検知箇所も覆う又は巻き込めるよう、ねんどを成形棒等で厚さ5 mm程度の平らな板状に加工する。

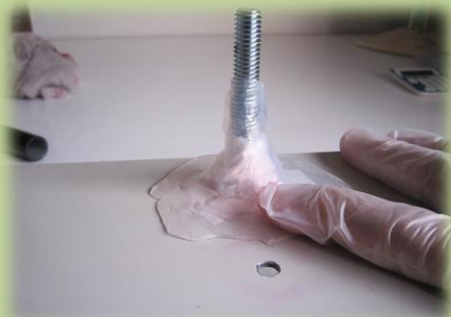


※ねんどを厚目にするのは成形性を向上させるため  
※このときねんどに手の油分があまり付着しないよう注意

手順5：セットした変色布と複雑な形状物を覆う又は巻き込むようにねんどを成形しながら貼り付ける。



手順7：ねんどの外周の接着面に浮きが無いよう丁寧に指で押し付ける。

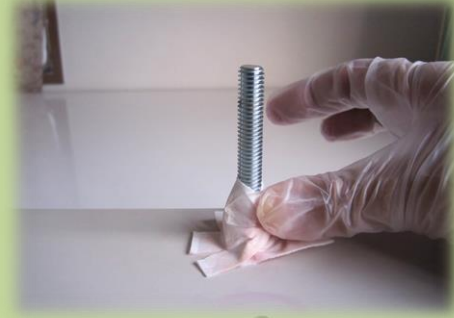


手順2：漏油を検知したい箇所の大きさや形に合わせて、確認しながら、変色布をハサミ又はカッターで切り抜く。



※吸着力をアップさせる場合は手順2の代わりに6頁の「吸着カアップの使い方(2)」を行ってください。

手順4：漏油を検知したい複雑な箇所に、変色布の変色剤塗布側（艶が無い面）を検知対象物側に向けてセットする。



※垂直面や急斜面で変色布がセットしづらい場合はスチックのりを少しだけ塗って仮止めしてください。

手順6：板状のねんどの厚みを薄くしていくイメージで全体を押し付けて延ばすようにしっかり貼り付ける。



いいね！

ねんどが不足した場合は適度な大きさのねんどを付けたして確実に密封する。



《ねんど（シリコン）タイプ》

手順1：貼り付け面の汚れ・油分を脱脂洗浄剤（アセトン）でよく拭き取ってください。



手順2：漏油を検知したい箇所の大きさに合わせて、実際にあてがって確認しながら、変色布をハサミ又はカッターで切り抜く。

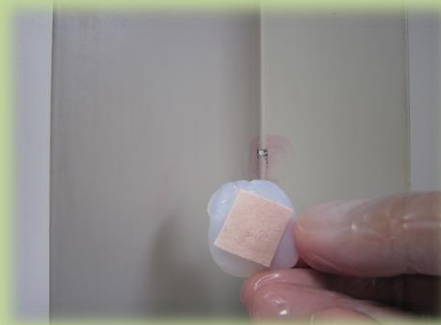


手順3：切り抜いた変色布の全体を覆える程度のポリウレームにねんどを球状に加工する。(目分量にて)



※このときねんどに手の油分があまり付着しないよう注意

手順4：球状のねんどの中心に、変色布のラミネート側（艶がある面）をねんど側に向けて貼り付ける。



※吸着力をアップさせる場合は手順4の後に6頁の「吸着カップの使い方(1)」を行ってください。

手順5：漏油の疑いがある箇所に球状のねんどに貼り付けた変色布が、しっかり当たるように位置を確認しながら、ねんどを押し付けて潰して延ばすように貼り付ける。



手順6：ねんどの外周の接着面に浮きが無いか確認する。

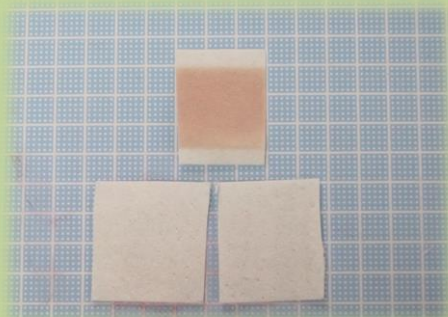


## 使用方法⑥：吸着力アップの使い方(1)

### 《ねんど（シリコン）タイプ》

本方法は布の切り取り形状が簡易 かつ ねんどに布を貼り付けてから漏油検知箇所に押し付ける使い方に対応します。\*\*\*使用方法③と使用方法⑤に適用\*\*\*

手順1：吸着用布を漏油を検知したい箇所の大きさに合わせて切り抜いた変色布と同じ形同じ大きさ(少し小さめ可)にハサミ又はカッターで切り抜く。



手順2：切り抜いた吸着用布のラミネート面（艶がある面）にスティックのりを数箇所に点付けて薄く塗る。



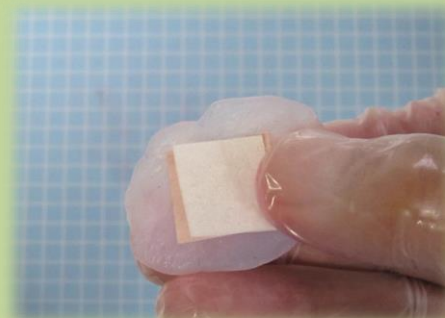
※スティックのりを全体に塗ると吸着用布に開けた油の貫通穴が詰まってしまいます。

※最終的にはねんどで押さえつけるので数箇所に点付けて軽く貼り付く程度でOK。

手順3：吸着用布の、のり塗布面をねんどに貼り付けた変色布に重ねるように軽く貼り付ける。



手順4：さらに吸着力をアップする場合は手順3で貼り付けた吸着用布対して、手順1～3の要領で新たな吸着用布を軽く貼り付けて重ねる。



※吸着用布は1～2枚程度までの使用を推奨。

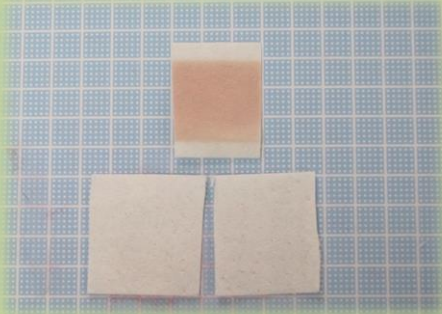
以降は使用方法③⑤の手順5～と同等の手順に従ってください。

## 使用方法⑥：吸着力アップの使い方(2)

### 《ねんど（シリコン）タイプ》

本方法は布の切り取り形状が複雑 かつ 漏油検知箇所に布を置いてからねんどで覆うように貼り付ける  
使い方に対応します。\*\*\*使用方法④に適用\*\*\*

手順1：漏油を検知したい箇所の大きさが切り抜ける程度  
の大きさに変色布を1枚、吸着用布は吸着  
力アップの必要性に応じて1～2枚切り取る。



※吸着用布は1～2枚程度までの使用を推奨。

手順2：吸着用布のラミネート面（艶がある面）にス  
ティックのりを数箇所に点付けて薄く塗る。

※複数枚切り取った場合は全ての吸着用布に塗る。



※ スティックのりを全体に塗ると吸着用布に開けた油の貫通  
穴が詰まってしまいます。

※ 最終的にはねんどで押さえつけるので数箇所に点付けて  
軽く貼り付く程度でOK。

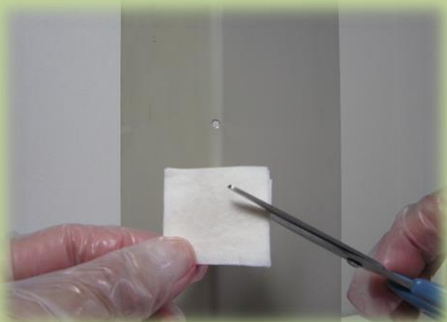
手順3：吸着用布のスティックのり塗布面を変色布の変  
色剤塗布側（艶が無い面）に重ねて軽く貼  
り付ける。



手順4：さらに吸着用布を重ねる場合は手順3で貼  
り付けた吸着用布対して、手順1～3の要領  
で吸着用布を軽く貼り付けて重ねる。



手順5：貼り合わせた布を漏油を検知したい箇所の大  
きさに合わせて、実際にあてがって確認しながら  
ハサミ又はカッターで切り抜く。



以降は使用方法④の手順3～と同等の手順に従ってください。



## 使用例：《シール（パッチ）タイプ》編

### 垂直平面ピンホールへの使用例



【解説】  
・最もオーソドックスな使い方で漏油検出と密閉が期待できる。  
【使い方のポイント】  
・ —

### 配管ピンホールへの使用例



【解説】  
・口径の太い配管に適用が可能。  
【使い方のポイント】  
・ —

## 使用例：《ねんど（シリコン）タイプ》編

### 凹箇所への使用例



【解説】  
・シールが貼り付けにくいところでもねんどは自由に形が変えられるため対応できる。  
【使い方のポイント】  
・凹部が深い場合は使用方法⑤を推奨

### パッキン部への使用例



【解説】  
・変色布を外周に長めにセットすれば漏油箇所の特定に適用が可能。  
【使い方のポイント】  
・パッキンの溝部にはねんどを二重にして密封性を高めている。

### 漏油修理箇所への使用例



【解説】  
・漏油修理箇所のチェック用として適用。  
【使い方のポイント】  
・写真は垂直面なので再度漏油があれば修理箇所の下部に漏油が集まるものとしてセット。

### ボルト部への使用例



【解説】  
・ボルトを通して漏油があるものを検知させるねらい。  
【使い方のポイント】  
・水平面のボルトなのでボルト周囲一周に変色布をセットして検知したもの。 —

# 『モレシール&ねんど』のセット内容

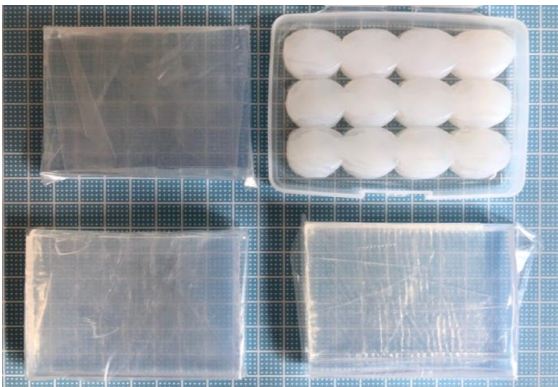
- ① 収納BOX、マット、ねんど整形棒、  
カッター、スティックのり



- ② モレシールs100 3枚



- ③ ねんど・・・ハード 50g 3個  
ソフト 4g 12個



- ④ 漏油見える化布・・・大 約 20cm 1枚  
中 約 10cm 2枚  
小 約 4cm 4枚



- ⑤ 脱脂洗浄剤(アセトン)・・・1本(50ml)  
※郵送できない可能性もございます。



- ⑥ 吸着用布・・・丸形 70φ 6枚  
長方形 4cm × 1M 1枚



## 各パーツ詳細

- ① 収納BOX、マット、ねんど整形棒、  
カッター、スティックのり

- ③ ねんど・・・ハード 50g 3個  
ソフト 4g 12個

ハードタイプねんど 1個 漏油見える化布 大1枚 中2回分  
小4回分 相当  
ソフトタイプねんど 2個 漏油見える化布 小1回分相当

- ⑤ 脱脂洗浄剤(アセトン)・・・1本(50ml)  
※郵送できない可能性もございます。  
※ウエスは使用者にて御用意ください

- ② モレシールs100 3枚

- ④ 漏油見える化布・・・大 約 20cm 1枚  
中 約 10cm 2枚  
小 約 4cm 4枚

- ⑥ 吸着用布・・・丸形 70φ 6枚  
長方形 4cm × 1M 1枚